

2016年9月度 家計分析

提出者数 140名の提出がありました。登録者は163名、提出率は85.9%です。前月比で6名減、前年比では8名の減となりますが、登録者そのものも前年度より17名減っています。これから寒い時期を迎えますが、みなさま体調には十分気を付けて、引き続きご提出を宜しく願いいたします。

収入 給料は前年比で（夫）102.8%、（妻）105.5%と微増しています。ニュース等ではゆるやかな景気回復傾向にあるようですが、業種・業態によっても違いが見られます。将来のために、働けるうちはできるだけ長く働きたいと考える人が増えているのかもしれない。

非消費支出 前年比で税金計103.1%、社会保険計106.6%と微増しています。社会保険料については平成29年までは負担率が上がるために今後も少しずつ家計を圧迫することでしょう。個人年金を年払いされた方がおられたので、前年比137.4%と高くなっています。非消費支出はコストカットがとても難しいですが、生命保険や損害保険は見直しによる経費削減が可能です。適正な契約内容であるかどうか、定期的な確認をお願いいたします

消費支出 食費は前年比101.3%でした。夏以降、野菜の高騰が長く続いており悩ましいところです。水・光熱費について9月は残暑が厳しかったにもかかわらず95.2%と節約傾向にあります。電力会社の乗り換えが少しずつ進んでいるのかもしれない。これから寒い時期を迎えるにあたり電気代の増加が少し気になるところです。今月、最も増えているのは自動車関係費の267.2%です。車購入資金でまとまった金額を計上された方がおられました。その他費用で前年比230.5%とあるのは結納費用と公正証書です。遺言作成などこれからは古い支度にもお金がかかる時代になりそうです。教育費は40代と50代で上位にランクインしています。これは後期の学費等を支払われたためのようです。交際費を押し上げているのは60代から年金世帯ですが、その交際費を抑えて教養娯楽費が2位に入っています。内訳をみると旅行に行かれる中高年の方が増えているようです。携帯料金やネット接続料などのプラン変更やサービスの見直しが進んでいるためか、通信費は比較的落ち着いています。

ランキング

	総 合	20～30代	40代	50代	60代	年金世帯
1	食費 68343	食費 57390	教育 114230	社保 82890	食費 66027	食費 65793
2	社保 49967	社保 55706	自動車 109517	教育 77902	教娯 44710	教娯 46621
3	教育 46578	家地 53700	食費 70939	食費 73851	交際 39260	交際 41904
4	自動車 41634	教育 44277	社保 67725	税金 55133	自動車 26999	住居 25498
5	教娯 36955	職主 35204	家地 53483	職主 48362	住居 23441	職主 20245
6	税金 32253	税金 34824	私保 49906	家地 42058	社保 23113	社保 19719
7	職主 31417	住居 33933	税金 43796	私保 41337	職主 21138	水光 15661